

新規
オプション
検査

脳血管疾患・心疾患の年間死亡者数はがんと同水準
「4人に1人」が動脈硬化を一因とする疾患で亡くなっています。

喫煙

運動
不足

高血圧

肥満

偏食



脳梗塞・心筋梗塞の 将来リスクお調べします!

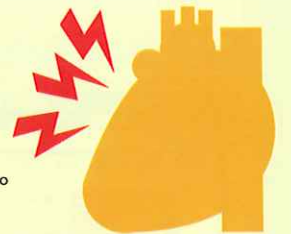
脳梗塞

寝たきりの原因にもなる疾患。
「3人に2人」が死亡か後遺症に



心筋梗塞

突然死の危険のある疾患。
年間「約15万人」が発症。



新しい検査で
発症危険度を
チェック!

血液検査でわかる脳梗塞・心筋梗塞の可能性

LOX-index ロックス・インデックス

検査の
特徴

◎ 動脈硬化の原因物質を測定

◎ 採血 (約2ml) で検査可能

血液中に隠れている動脈硬化の
原因物質の量を調べる

◎ 脳梗塞・心筋梗塞の

将来の発症リスクを予測



血管壁から
切り離されたLOX-1

検査では血液中の酸化した超悪玉コレステロール [酸化変性LDL] と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進ませる [LOX-1] というたんぱく質を測定します。検査によって得た解析データを過去の臨床データと照らし合わせ、動脈硬化の進行から将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症危険度 (リスク) を予測いたします。



Q&A

よくあるご質問

このような方にお勧めします

- 肥満気味である
- 高血圧、脂質異常症、糖尿病などの持病がある
- 脂っこい食事や塩辛い食べ物をよく食べる
- たばこを吸っているもしくは吸っていた
- 定期的に運動をしていない

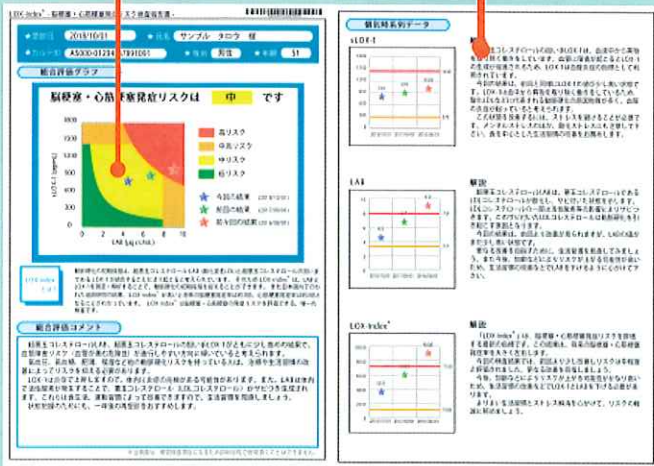


検査結果は、詳細なレポートでご報告致します。

発症リスクのレベルを分かりやすくグラフで記載。

過去の検査結果からの推移も一覧できる解説付き。

生活習慣改善のためのアドバイス別冊子つき



生活習慣の改善を

まずは、日々の生活習慣を見直し、改善に努めましょう。

※適切な食事量を摂ります。食事は腹八分まで。朝食は必ず摂ります。食事はよく噛みます。食後は30分程度歩きます。

※運動習慣を身につけます。毎日30分程度の運動を継続しましょう。

※禁煙を勧めます。喫煙は健康を害します。禁煙を勧めます。

※適切な睡眠を確保します。毎日7～8時間の睡眠を確保しましょう。

※ストレスを軽減します。ストレスは健康を害します。ストレスを軽減しましょう。

よくあるご質問

Q1 LDL-C値が高すぎるとどうなるのでしょうか？

A1 LDL-C値が高すぎると、動脈硬化の原因となります。動脈硬化が進むと、心臓病や脳卒中の原因となります。

Q2 LDL-C値を下げたいのですが、どうしたらいいのでしょうか？

A2 LDL-C値を下げるには、食事の改善と運動が効果的です。また、必要に応じて薬物療法を行います。

Q3 禁煙を勧めますが、禁煙が難しい場合はどうしたらいいのでしょうか？

A3 禁煙が難しい場合は、禁煙外来や禁煙薬の処方を受けることができます。

Q4 定期的に運動をするのが難しい場合はどうしたらいいのでしょうか？

A4 定期的に運動をするのが難しい場合は、ウォーキングや水泳など、自分に合った運動を継続しましょう。

◆予約に関するお問い合わせ



独立行政法人 地域医療機能推進機構
 Japan Community Health care Organization : JCHO
千葉病院
 Chiba Hospital

受付時間 : 午前8:30 ~ 11:30
 午後1:00 ~ 4:00

TEL : 043-261-2228